



レオパレス21 ミャンマーオープン2017 リポート

1月26日(木)から始まるレオパレス21ミャンマーオープン2017の開催に先立ち、本日開催となるパンラインGCにて出場選手らによる開催会見が行われました。

この会見にはディフェンディングチャンピオンのS・ノリス選手の他、日本選手を代表して昨年の日本ゴルフツアーの賞金王である池田勇太選手が出席しました。

大会の開催概要説明のあと、各選手より本大会への意気込みが語られました。

池田選手は「この試合は他の試合と違って、自分も強い思い入れがある大会。

ここでいいプレーを見せたいと思っている。優勝争いしたい。」と話すなど意欲十分の様子だった。

この会見の後には、ミャンマー伝統の習慣で日焼け止めの効果もある、ミャンマー人には欠かせない生活習慣「タナカ」のデモンストレーションも行われ、会見に出席した各選手も顔に化粧をして楽しんだ。

いよいよ各選手が会場入りし、雰囲気も盛り上がってきた本大会。

明日25日にはプロアマ大会が開催され、木曜日から熱戦の火蓋が切って落とされる。



ミャンマーオープン2017 火曜日 池田勇太選手 共同会見コメント

— 今シーズン2試合目となる本大会を迎えて？

賞金王として昨シーズンはいいプレーが出来ていた。

先週から今シーズンがスタートして、シンガポールでは
予選落ちしましたが、これが2試合目。

この試合は他の試合と違って、自分も強い思い入れがある大会。

ここでいいプレーを見せたいと思っている。

— アジアンツアーとの共同主管試合について？

4月の国内開幕までは試合の無い時期があるので、

その中でこの様な試合が出来るというのはとても

いいことだと思っている。芝も気候も違うし、我々にとって

勉強になる。アジアンツアーにとっても、日本にとってもお互いの

為になる。日本だけでなく、世界へ出て行くには、技術を磨くことが必要。

強い選手もいるので、お互いにとって刺激になるのではと思う。

— 18ホール回ったこのコースの印象

全体的に殆どのコースで池が絡む。タイトに見えるホールもある。

ホールごとにしっかりフェアウェイに置いていくことが重要。

グリーンまわりも短く切つてあるところもあるので、

ショットが重要になると思う。

この試合は長い歴史のある大会だし、それに自分も尽力して

昨年復活した大会なので、すごい思い入れもある試合。

先週の結果のことは無しにして、今週は優勝争いしたい。

ここはシンガポールに比べて湿度が無い分、過ごしやすい。

でも日差しは強いからそこだけ気をつけないと。